

琉球大学学術リポジトリ

復帰準備6

| | |
|-------|--|
| メタデータ | 言語: 出版者: 公開日: 2019-01-29 キーワード (Ja): 復帰準備, 国会承認 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/20.500.12000/43402 |

中保研作成

中選問題資料

訪米報告と向懸点X王

(9.30. 未次)

秘

1/3

秘
無期限

1. アメリカにおける沖縄問題

(1) 返還協定批准の手順と向懸点

イ. 9月21日、大統領から協定を上院に送付。
上院は直ちに外交委に付託

ロ. 外交委は審議スケジュールを検査中
(対外援助法、予算、中国問題などに関連しつつ)

ハ. 外交委の予想

- a. 聴詢会は予想より早く10月下旬 - 4~5日由
- b. 討論採決は11月初旬?
- c. どれよりおくれるとすは、日本の口合の動きをみて、決の時期がおくれるか知らぬ。
- d. 採決は問題なし (反対派少数)

ニ. 外交委の問題点

- a. 聴詢会における米政府の説明が、かねての日本政府の説明と食い違つた点の問題
- b. 尖閣列島返還及対露かあると思われるか、然殺かこれと噴明なると、話題になるう。
- c. 経済関係、軍事関係などを背景とする及対露かあるうか、大勢の影響なし

ホ. 本会議と向懸点

- a. 外交委に引きつづける本会議に送附されるか、折極日本国会の進行状況をみよからと11月とになる公算が強い

b. 本会議の会期が昨年とあり、12月下旬まで7ヶ月は、年内承認の可能性有り

c. 但し、今年は早期終了の主張あり。(11月下旬、12月初旬) 北は早期終了とすれば、来年廻りなる公算大

d. (とくに日本の口合が異常に混乱したり、南連球案のつみ返しが出れば) 来年廻りは決定的か?

(2) 協定批准に関する空気

1. 米政府

a. 当然ながら積極的、とくに國務省。

ロ. 議会

- a. 通常の力場をに於る幹部 - フロイト、マシフィールド (民主進歩連合)、スミス (共和系同) との積極的
- b. サモント、ビュルタン、ハート などの公選と反論しているものもあるが、少数
- c. 但し、多数の状況の動きが浮動するものもあるが、反対が3分の1を上廻るとは有り得ない。

ハ. マスコミ

- a. 外交委の審議かはしすれば一論調か出さうか、主要新聞は促進主張
= ニューヨークタイムズ、ワシントンポストなど
- b. ワシントン紙では、経済関係と絡み合っているかあるうか、大勢の影響なし

ニ. 反対勢力

a. 鐵錐、軍事 (金花銀座人)、尖閣列島関係などの動きはあつても、大勢として向懸点なし

(3) 判断

- イ. 以上の通り、協定批准のスムーズな進行を定める鍵は、ワシントンに非ず、東京にあり。
- ロ. 年内承認を定めるのは、わが国側のスムーズな進行にかゝる？
- ハ. 承認が来年初めに持ちこたれた場合の向き点
 - ア. 中韓の不安はいつまで増大、
 - イ. その向に不可測の事態あり
(口述の中国問題、ニクソン訪中、日米経済関係の悪化その他)
 - ウ. 返還期限満日の影響が、いかに受け止める。等々

2. 日米経済関係

- (1) 対日経済協定締結を思以上で強し
今年に入ってから日米貿易のアンバランス (1:1.5) が増え、知られぬ。
- (2) 米経済のゆさぶり深刻
インフレ、物価、失業 (対米、ワシントン) とし、78年までの貿易収支の赤字。
- (3) ニクソンの新政策への支持強し
 - ア. 専断裁断の効果に対する疑問はあつた
 - イ. 既成に對中接近を非難する知日派も、経済問題にはニクソン支持、日本のやん方批判
 - ウ. 繊維問題を契機とする佐藤首相への不信は、思つてより強くなる、強し
- (4) 国内政治的川出し対応をくすつたのは、日米関係にとって危険
- (5) 親日派は、日本政府の説明や書面的対応と、同時に長期的視野をきつ日米友好政策の推進 — とし、経済、文化、人的交流等 — を強く希望。
- (6) 日米離隔は北京の意図 — これへの対応は必要、とする声も強し
- (7) アメリカは疲弊たしかにかなりいかに？ 反面には復活の力あり

3. 中国問題

- (1) 創刊的なニクソン訪中の発表にはおどろいたか? 全報として送る方針
- (2) キッシンジャーに対する激会節の反応はかたまり限り
- (3) ニクソンの訪中の可否および訪中結果への見通し、皮肉を散く、かつ左解
- (4) 口連における台湾の擁護は全力をつくす方針
- (5) ワシントンから見ると、日本の動きは異常。知日派の中には、これを心配する向き
- (6) 口連における帰趨は、"わからぬ"が多数。何れにせよ権限は向遠くない。場合によっては、山が明記の総会に持ち越されることあり得る
- (7) 日本にとって重要なことは、あらゆる場合への対応策を幅広く用意すること

秘
無期限

2/3

沖縄返還協定批准促進のための方策 (9.30)

(1) 沖縄への対策

- イ 住民の復帰不安解消のため
 - a. 外務省による協定と復帰以後に関するPR
 - b. 総理府による復帰対策要綱、末端浸透を図るPR
— できるだけ具体的—
 - c. 企業進出の気運を大きく打出す工夫
 - d. 沖縄経済開発構想の展開
- ロ 反相運動鎮静のため
 - a. "もしも返還協定不成立の場合には、"についてあらゆる機会に巧みに呼びかける
 - 内外情報調査会、外交知識普及会
 - ビデオ討論会
 - 現地新聞への論文投稿および投書
 - b. 同盟組織を通じての働きかけ
 - c. 各種団体の活動支援
 - 生長の家、建青会、青年会議所、立正佼成会、経済界、その他
 - d. 沖縄自民党の活動強化
 - 大会的行事より、地域、取組における執拗な組織的活動
 - e. 革新勢力(沖縄)への切り込み
 - 過激派幹部の説得工作
 - f. 文化人グループによるアシピール
- ハ 琉球政府への工作
 - a. 座長出席への説得
正念場での毅然たる態度をおこす

β. 政府首脳への工作

副文席 他 局長への働きかけ

二 神級選出国会議員への工作

a. 有効な方法をもちて 個別的な工作を

(2) 本土における対策

1. 政府と党への働きかけ

a. 佐藤首相への働きかけあり得る可能な方法で——(会投書)
○ 所信表明演説は神級問題を中心に中国、日米関係にのみ
ふたつ格調あるものを(個人作文は不可)

◎ 最悪の場合は退陣決意を党内散漫にあたるよう。

b. 閣僚閣僚への働きかけ

○ とくに外務、総務、防衛、各大臣への
働きかけ——(会投書)

○ また閣僚法案のつみ残しがないように——

c. 自民党幹部 および各派実力者への働きかけ

(会上)

ロ. 野党工作

a. もっとも重要は 民社党工作

○ 最終段階における自民単独採決を避ける
ことを目標として、最悪の場合でも議院運
営上の根拠を求め。

b. 公明党工作

○ いち早く反撃を打たせしもの、終局的態度に
考慮している状況を考慮して。

c. 社会党工作

○ 党内神級派(川崎氏あたり)への働きかけ

ハ. マスコミ対策

a. 外相が閣僚機関首脳に直接協力要請を
行うこと。

b. 論議委員クラスとの話し合いも必要

c. 外相指: 総理府は、水-線記者のみならず、部長デスク
などにできるだけフリー-フリーを行なうこと

d. 執筆者(新聞、雑誌)への働きかけ

二 世論対策

a. 神級返還促進10人委によるアピール

(候補) 大塚信泉 茅誠司 森戸辰男
畑山政道 南原 繁 我妻 東雄 朝永振一郎
東畑 精一 林 修三 石川 達三 森田 隆一
川崎 康成 林 武 鳩山 薫 天野 貞祐

○ アピールを新聞記事に転じ、政府各党閣
僚へ送附し、あるいは有効な広告方法を行なう

b. 返還根拠促進促進集会の実施

○ 大衆集会的規模のもの
○ 学者、文化人、団体役員など他文芸と結び

c. 閣僚団体の働きかけ

アピール、投書活動などの奨励

○ 中国問題50人委員会

○ 安保推進100人委員会

○ その他各種団体独自の活動促進

d. 機動宣伝隊の組織

○ 学生、青年による宣伝車による活動
街頭演説、チラシ配布

e. ポスター、ステッカーの貼布

f. 講演会、夜談会等の開催

○ 内外備給調査会などに適任講師派遣の他
都内中心に集中的に行なう。

秘
無期限

— 秘 —
無期限

安全保障課長

~~条約課長~~

~~山崎~~
アメリカ局長
参事官
北米第一課長

安全保障課長

安保研作成 沖繩問題資料
10712

46-10-12

北米一 (2-2)

12日 安保研 末次事務局長より
資料の参考より、下記資料を送付

秘1720.2 別添、回覧して可。
記。

1. 訪米報告と問題点メモ
2. 沖繩返還協定促進推進の7200方針
3. 当国の沖繩問題とわが国の対応

秋
期
限

当面の冲縄国会をめぐる内外の動向

3/3

| 年月 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|----|--------------|--------------------|-------------------|-------------------|
| 選挙 | 公明党 文部省改 | 新選組 自由民主党 | | 自由民主党 |
| 米 | 米穀関係 米穀関係 | 上院外交委 院向会(4~5日) | 院向会(5~6日) 米穀関係 | 院向会(5~6日) 米穀関係 |
| 国際 | 米穀関係 米穀関係 | 米穀関係 米穀関係 | 米穀関係 米穀関係 | 米穀関係 米穀関係 |
| 国会 | 米穀関係 米穀関係 | 米穀関係 米穀関係 | 米穀関係 米穀関係 | 米穀関係 米穀関係 |
| 院外 | 米穀関係 米穀関係 | 米穀関係 米穀関係 | 米穀関係 米穀関係 | 米穀関係 米穀関係 |
| 沖縄 | 米穀関係 米穀関係 | 米穀関係 米穀関係 | 米穀関係 米穀関係 | 米穀関係 米穀関係 |